

「来島海峡海上交通センター」

みんなに知ってほしい!

【海の管制官】のお仕事 Q&A

Q1 海の管制官って何するの？

A1 レーダーやカメラなど多くのツールを利用して航行船舶の動きや海域の状況を把握し、それらを基にして、航路を通航する船舶が安全に航行できるように、無線などさまざまな手段により情報提供を行っています。

管制官は、【24時間、365日】業務を行い、海上交通の安全・安心を支えています。

Q2 管制官の勤務のサイクルは？

A2 24時間体制で、基本的に日勤、夜勤、夜勤明け、公休のサイクルで勤務しますが、年次休暇なども計画的に取得できます。

Q3 給与や福利厚生は？

A3 国家公務員として身分が保証され、毎月の給与、期末手当・勤勉手当（ボーナス）が支給されます。また、希望者によっては国家公務員宿舎の貸与の制度があります。

Q4 女性も活躍できる？

A4 無線で情報提供を行うとき、一般論として「女性の声の方が聞き取りやすい」という意見も多く、各海上交通センターでは多くの女性管制官が勤務しており、女性の活躍が期待される職場の一つとなっています。



「全国7か所にある海上交通センター」を知りたい!?

管制官となって勤務できる海上交通センターは、船舶が輻輳する海域に設置されています。

- ① 関門海峡海上交通センター（福岡県北九州市）
- ② 来島海峡海上交通センター（愛媛県今治市）
- ③ 備讃瀬戸海上交通センター（香川県綾歌郡）
- ④ 大阪湾海上交通センター（兵庫県神戸市）
- ⑤ 名古屋港海上交通センター（愛知県名古屋市）
- ⑥ 伊勢湾海上交通センター（愛知県田原市）
- ⑦ 東京湾海上交通センター（神奈川県横浜市）



管制官になるにはどうしたらいいか知りたい!?

海上保安学校「管制課程」の学生採用試験を受験・合格し、海上保安学校（京都府舞鶴市）で2年間の専門教育を受ける必要があります。なお、入学と同時に国家公務員として採用されるとともに、在学中は入学金や授業料が不要なうえ、毎月の給与や年2回のボーナスも支給されます。海上保安学校では、管制官として必要な資格（第3級海上無線通信士や第1級小型船舶操縦士など）の取得や、技能の習得のため、現場の業務を想定したシミュレーターを使用した実習や外国船との通信に必要な英会話のスキルアップのための授業などを行っています。

卒業後、管制官として各海上交通センターに配属されることとなります。